

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	穴吹デザイン専門学校
設置者名	学校法人穴吹学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門	建築学科	夜・通信	1898 単位時間	160 単位時間	
	インテリアデザイン学科	夜・通信	1976 単位時間	160 単位時間	
文化教養専門	商品企画デザイン学科	夜・通信	1652 単位時間	160 単位時間	
	グラフィックデザイン学科	夜・通信	1434 単位時間	160 単位時間	
	マンガ・アニメーション学科	夜・通信	1356 単位時間	160 単位時間	
	CG・ゲーム学科	夜・通信	1018 単位時間	160 単位時間	
(備考) 2020年度から、授業時間の単位時間を50分から90分に変更する予定。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/adh-jitsumu.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	穴吹デザイン専門学校
設置者名	学校法人穴吹学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/hiroshima/jigyohoukoku.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
(備考) 2020年4月1日までに、複数の学外者である理事の選任を確実に実施する。			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	穴吹デザイン専門学校
設置者名	学校法人穴吹学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>9月～10月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、12月～1月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。2月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。</p> <p>授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。</p> <p>学校ホームページ → 情報公開 → 公開情報 → 3. 各学科等の教育 → シラバス ……内に 学科・学年ごとに公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="http://web.anabukih.ac.jp/info/information/">http://web.anabukih.ac.jp/info/information/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>①授業科目の成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。</p> <p>②成績評価は、期末試験のほか、出席率・課題・レポートを参考にし総合的に評価する。</p> <p>③評価基準はA, B, C, Dの4段階とし、A, B, Cを合格とする。 A(100～80点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とし、各科目で規定している出席率に満たない者は、当該科目の期末試験の受験資格を失い、D評価になる。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化(100点満点)し、合計した上でその平均点を算出する。</p> <p>上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校のWebサイトで一般公開も行っている。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p><a href="http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/hiroshima/seiseki.pdf">http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/hiroshima/seiseki.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

## 卒業の認定方針

(卒業までに身につける能力を定めた基本方針)

### 【建築学科】

- ・ 建築を多面的な視野で捉え、関連する分野との連携に長けた円滑なコミュニケーションができる。
- ・ 社会の変化から未来を汲み取り、専門的な技術力をベースに価値ある場所を提案できる。
- ・ 積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

### 【インテリアデザイン学科】

- ・ インテリアを多面的な視野で捉え、関連する分野との連携に長けた円滑なコミュニケーションができる。
- ・ 世の中の流れを敏感に察知し、人の暮らしにとって価値ある空間を提案できる。
- ・ 積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

### 【商品企画デザイン学科】

- ・ 社会への分析的な眼差しで、編集的な視点から新しい価値を示す企画や商品を提案できる。
- ・ 造形やモノづくりのプロセスを学んだ体験からプロデュース能力を兼ね備えている。
- ・ 積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

### 【グラフィックデザイン学科】

- ・ ニーズを汲み取るコミュニケーション能力を備えている。
- ・ 社会の変化に柔軟に対応し、多様な媒体を視野にデザインの企画や表現が提案できる。
- ・ 積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

### 【マンガ・アニメーション学科】

- ・ クライアントや取引先と仕事上のコミュニケーションが出来る能力を備えている。
- ・ マンガ家・アニメーター・イラストレーター・作家として要求に応える技術を身に付けている。
- ・ 積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

### 【CG・ゲーム学科】

- ・クリエイターとして主体的・継続的に創作への可能性を追求する姿勢を身に付けている。
- ・コンピュータグラフィックスを使ったコンテンツ制作の基本技術を備えている。
- ・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている

#### 卒業の認定について

校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。

#### 卒業条件

- ①卒業制作を行っていること。
  - ②成績評価がすべてC以上であること。
  - ③原則として年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- 上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。

#### 卒業判定会議

通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつD評価の者は卒業判定会議にかかるものとする。

上記について Web サイトで公開している。

卒業判定会議は議事録により適切な実施の確認を行っている。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/hiroshima/ninti.pdf>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:
-------

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:
-------

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法： ） （概要）
卒業の認定に関する方針（公表方法： ） （概要）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： ） （概要）
入学者の受入れに関する方針（公表方法： ） （概要）

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：
-------

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	人	—					人
	—	人	人	人	人	人	人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		人					人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
	人	人	%	人	人	%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	人	人	%	人	人	%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
------

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：
-------

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要)
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要)
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要)

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：
-------

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	穴吹デザイン専門学校
設置者名	学校法人穴吹学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/fukuyama/kessan.pdf">http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/fukuyama/kessan.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/fukuyama/kessan.pdf">http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/fukuyama/kessan.pdf</a>
財産目録	<a href="http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/fukuyama/zaisan.pdf">http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/fukuyama/zaisan.pdf</a>
事業報告書	<a href="http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/hiroshima/jigyohoukoku.pdf">http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/hiroshima/jigyohoukoku.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/fukuyama/kessan.pdf">http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2019/fukuyama/kessan.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門	建築学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700単位時間	516 単位時間 /単位	150 8単位時 間/単位	0単位時 間/単位	0単位時 間/単位	0単位時 間/単位
			2024単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		27人	0人	4人	15人	19人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>9月～10月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、12月～1月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。2月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。</p> <p>授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。</p>

<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>(概要)</p> <p>学年末において、各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況を総合的に勘案して評価し、履修を認定している。</p> <p>学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化(100点満点)し、合計した上でその平均点を算出する。</p> <p>上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校のWebサイトで一般公開も行っている。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>卒業までに身につける能力を定めた基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築を多面的な視野で捉え、関連する分野との連携に長けた円滑なコミュニケーションができる。</li> <li>・ 社会の変化から未来を汲み取り、専門的な技術力をベースに価値ある場所を提案できる。</li> <li>・ 積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。</li> </ul> <p>卒業の認定について</p> <p>校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。</p> <p>卒業条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①卒業制作を行っていること。</li> <li>②成績評価がすべてC以上であること。</li> <li>③原則として年間総授業時間数の80%以上出席していること。</li> </ol> <p>上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。</p> <p>卒業判定会議</p> <p>通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつD評価の者は卒業判定会議にかかるものとする。</p> <p>上記について電子版学生手帳およびWebサイトで公開している。</p> <p>卒業判定会議は議事録により適切な実施の確認を行っている。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>放課後にオフィスアワーを設け、授業科目や専門分野別の質問・相談に教職員が対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 （100%）	0人 （0%）	10人 （100.0%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） ㈱アスナカノ・㈱タカシンホーム・タマホーム㈱ 建築設計業界・住宅業界・店舗設計業界 等			
（就職指導内容） 1年次から就職キャリアセンター職員による就職支援授業を実施。2年次はチューターと連携した進路個人面談を実施して、進路指導・サポートを実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ユニバーサルデザインコーディネーター3級 合格率100%			
（備考）（任意記載事項） 求人票を学生個人にメールにて配信し、求人情報の共有を図っている。また、学内企業説明会を平成30年度は65回実施。職業に出会い内定に直結する支援を実施している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	1人	5.0%
（中途退学の主な理由） 就職のため。		
（中退防止・中退者支援のための取組） アンケート実施により個々の問題点を把握し、チューターおよび、カウンセラーなどによる面談を実施、指導履歴作成と情報共有。また、経済的事情等や進路変更で就業が必要な場合はガイダンスや支援機会の提供などを実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門	インテリアデザイン 学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700単位時間	396 単位時間 /単位	170 6単位時 間/単位	0単位時 間/単位	0単位時 間/単位	0単位時 間/単位
			2102単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
50人	47人	1人	4人	16人	20人		

<p>カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）</p>
<p>（概要）  9月～10月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、12月～1月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。2月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。  授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>（概要）学年末において、各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況を総合的に勘案して評価し、履修を認定している。  学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。  上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校のWebサイトで一般公開も行っている。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>（概要）  卒業までに身につける能力を定めた基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアを多面的な視野で捉え、関連する分野との連携に長けた円滑なコミュニケーションができる。</li> <li>・世の中の流れを敏感に察知し、人の暮らしにとって価値ある空間を提案できる。</li> <li>・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。</li> </ul> <p>卒業の認定について  校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。</p> <p>卒業条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①卒業制作を行っていること。</li> <li>②成績評価がすべてC以上であること。</li> <li>③原則として年間総授業時間数の80%以上出席していること。</li> </ol> <p>上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。</p> <p>卒業判定会議  通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつD評価の者は卒業判定会議にかかるとする。  上記について電子版学生手帳およびWebサイトで公開している。  卒業判定会議は議事録により適切な実施の確認を行っている。</p>

学修支援等 (概要) 放課後にオフィスアワーを設け、授業科目や専門分野別の質問・相談に教職員が対応している。
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	18人 (100.0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 株MDI・株トランスデザイン・株心石工芸 建築設計業界・住宅業界・家具製造業界 等			
(就職指導内容) 1年次から就職キャリアセンター職員による就職支援授業を実施。2年次はチューターと連携した進路個人面談を実施して、進路指導・サポートを実施している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ユニバーサルデザインコーディネーター3級 合格率100%			
(備考) (任意記載事項) 求人票を学生個人にメールにて配信し、求人情報の共有を図っている。また、学内企業説明会を平成30年度は65回実施。職業に出会い内定に直結する支援を実施している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	1人	2.4%
(中途退学の主な理由) 自己都合による。		
(中退防止・中退者支援のための取組) アンケート実施により個々の問題点を把握し、チューターおよび、カウンセラーなどによる面談を実施、指導履歴作成と情報共有。また、経済的事情等や進路変更で就業が必要な場合はガイダンスや支援機会の提供などを実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門	商品企画デザイン学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1700単位時間	260 単位時間 /単位	151 8 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位
			1778 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		17人	0人	5人	8人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>9月～10月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、12月～1月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。2月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。</p> <p>授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学年末において、各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況を総合的に勘案して評価し、履修を認定している。</p> <p>学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化(100点満点)し、合計した上でその平均点を算出する。</p> <p>上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校のWebサイトで一般公開も行っている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業までに身につける能力を定めた基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会への分析的な眼差しで、編集的な視点から新しい価値を示す企画や商品を提案できる。</li> <li>・造形やモノづくりのプロセスを学んだ体験からプロデュース能力を兼ね備えている。</li> <li>・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。</li> </ul> <p>卒業の認定について</p> <p>校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。</p> <p>卒業条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①卒業制作を行っていること。</li> <li>②成績評価がすべてC以上であること。</li> <li>③原則として年間総授業時間数の80%以上出席していること。</li> </ol>

<p>上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。</p> <p>卒業判定会議          通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつD評価の者は卒業判定会議にかかるとする。          上記について電子版学生手帳およびWebサイトで公開している。          卒業判定会議は議事録により適切な実施の確認を行っている。</p>
<p>学修支援等          (概要)          放課後にオフィスアワーを設け、授業科目や専門分野別の質問・相談に教職員が対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	9人 (90.0%)	1人 (10.0%)
(主な就職、業界等)	アクタス広島店・(有)賀茂クラフト・(株)プリオテック 家具販売業界・インテリア用品製造業界・印刷業界 等		
(就職指導内容)	1年次から就職キャリアセンター職員による就職支援授業を実施。 2年次はチューターと連携した進路個人面談を実施して、進路指導・サポートを実施している。		
(主な学修成果(資格・検定等))	ユニバーサルデザインコーディネーター3級 合格率100%		
(備考)(任意記載事項)	求人票を学生個人にメールにて配信し、求人情報の共有を図っている。また、学内企業説明会を平成30年度は65回実施。職業に出会い内定に直結する支援を実施している。		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) アンケート実施により個々の問題点を把握し、チューターおよび、カウンセラーなどによる面談を実施、指導履歴作成と情報共有。 また、経済的事情等や進路変更で就業が必要な場合はガイダンスや支援機会の提供などを実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門	グラフィックデザイン学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1700単位時間	247 単位時間/単位	199 9単位時間/単位	0単位時間/単位	0単位時間/単位	0単位時間/単位
			2246単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		77人	0人	5人	10人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>9月～10月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、12月～1月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。2月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。</p> <p>授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学年末において、各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況を総合的に勘案して評価し、履修を認定している。</p> <p>学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。</p> <p>上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校のWebサイトで一般公開も行っている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業までに身につける能力を定めた基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズを汲み取るコミュニケーション能力を備えている。</li> <li>・社会の変化に柔軟に対応し、多様な媒体を視野にデザインの企画や表現が提案できる。</li> <li>・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。</li> </ul> <p>卒業の認定について</p> <p>校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。</p> <p>卒業条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①卒業制作を行っていること。</li> <li>②成績評価がすべてC以上であること。</li> <li>③原則として年間総授業時間数の80%以上出席していること。</li> </ol> <p>上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。</p>

<p>卒業判定会議  通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつD評価の者は卒業判定会議にかかるとする。  上記について電子版学生手帳およびWebサイトで公開している。  卒業判定会議は議事録により適切な実施の確認を行っている。</p>
<p>学修支援等  (概要)  放課後にオフィスアワーを設け、授業科目や専門分野別の質問・相談に教職員が対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
43人 (100%)	0人 (0%)	43人 (100.0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) (株)アスカネット・東光印刷(株)・(株)広島東洋カープ グラフィック・webデザイン業界・印刷業界 等			
(就職指導内容) 1年次から就職キャリアセンター職員による就職支援授業を実施。 2年次はチューターと連携した進路個人面談を実施して、進路指導・サポートを実施している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) Illustrator クリエイター能力認定試験スタンダード 合格率78.8%			
(備考)(任意記載事項) 求人票を学生個人にメールにて配信し、求人情報の共有を図っている。また、学内企業説明会を平成30年度は65回実施。職業に出会い内定に直結する支援を実施している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
79人	5人	6.3%
(中途退学の主な理由) 通院治療、自己都合による。		
(中退防止・中退者支援のための取組) アンケート実施により個々の問題点を把握し、チューターおよび、カウンセラーなどによる面談を実施、指導履歴作成と情報共有。また、経済的事情等や進路変更で就業が必要な場合はガイダンスや支援機会の提供などを実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門	マンガ・アニメーション学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1700単位時間	338 単位時間/単位	265 7単位時間/単位	0単位時間/単位	0単位時間/単位	0単位時間/単位
			2995単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		57人	0人	7人	7人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>9月～10月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、12月～1月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。2月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。</p> <p>授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学年末において、各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況を総合的に勘案して評価し、履修を認定している。</p> <p>学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。</p> <p>上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校のWebサイトで一般公開も行っている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業までに身につける能力を定めた基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クライアントや取引先と仕事上のコミュニケーションが出来る能力を備えている。</li> <li>・マンガ家・アニメーター・イラストレーター・作家として要求に応える技術を身に付けている。</li> <li>・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。</li> </ul> <p>卒業の認定について</p> <p>校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。</p> <p>卒業条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①卒業制作を行っていること。</li> <li>②成績評価がすべてC以上であること。</li> <li>③原則として年間総授業時間数の80%以上出席していること。</li> </ol>

<p>上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。</p> <p>卒業判定会議          通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつD評価の者は卒業判定会議にかかるとする。          上記について電子版学生手帳およびWebサイトで公開している。          卒業判定会議は議事録により適切な実施の確認を行っている。</p>
<p>学修支援等          (概要)          放課後にオフィスアワーを設け、授業科目や専門分野別の質問・相談に教職員が対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	33人 (91.7%)	3人 (8.3%)
(主な就職、業界等)	(株)カワ・デジタルワークスエンターテインメント・(株)ライデンフィルム アニメーション業界・ゲーム業界・サイン制作業界 等		
(就職指導内容)	1年次から就職キャリアセンター職員による就職支援授業を実施。 2年次はチューターと連携した進路個人面談を実施して、進路指導・サポートを実施している。		
(主な学修成果(資格・検定等))	Illustrator クリエイター能力認定試験スタンダード 合格率97.1%		
(備考)(任意記載事項)	求人票を学生個人にメールにて配信し、求人情報の共有を図っている。また、学内企業説明会を平成30年度は65回実施。職業に出会い内定に直結する支援を実施している。		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76人	5人	6.6%
(中途退学の主な理由)	進路変更、就職による。	
(中退防止・中退者支援のための取組)	アンケート実施により個々の問題点を把握し、チューターおよび、カウンセラーなどによる面談を実施、指導履歴作成と情報共有。また、経済的事情等や進路変更で就業が必要な場合はガイダンスや支援機会の提供などを実施。	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門	CG・ゲーム学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1700単位時間	364 単位時間 /単位	260 0単位時 間/単位	0単位時 間/単位	0単位時 間/単位	0単位時 間/単位
			2964単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		61人	0人	7人	6人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>9月～10月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、12月～1月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。2月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。</p> <p>授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学年末において、各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況を総合的に勘案して評価し、履修を認定している。</p> <p>学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。</p> <p>上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校のWebサイトで一般公開も行っている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業までに身につける能力を定めた基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリエイターとして主体的・継続的に創作への可能性を追求する姿勢を身につけている。</li> <li>・コンピュータグラフィックスを使ったコンテンツ制作の基本技術を備えている。</li> <li>・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている</li> </ul> <p>卒業の認定について</p> <p>校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。</p> <p>卒業条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①卒業制作を行っていること。</li> <li>②成績評価がすべてC以上であること。</li> <li>③原則として年間総授業時間数の80%以上出席していること。</li> </ol>

<p>上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。</p> <p>卒業判定会議          通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつD評価の者は卒業判定会議にかかるとする。          上記について電子版学生手帳およびWebサイトで公開している。          卒業判定会議は議事録により適切な実施の確認を行っている。</p>
<p>学修支援等          (概要)          放課後にオフィスアワーを設け、授業科目や専門分野別の質問・相談に教職員が対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
44人 (100%)	0人 (0%)	40人 (90.9%)	4人 (9.1%)
(主な就職、業界等)	(株)イメージネット・ピクセルアニメーションスタジオ(株)・(株)六面堂 ゲーム業界・アニメーション業界・デザイン業界 等		
(就職指導内容)	1年次から就職キャリアセンター職員による就職支援授業を実施。 2年次はチューターと連携した進路個人面談を実施して、進路指導・サポートを実施している。		
(主な学修成果(資格・検定等))	CGクリエイター検定ベーシック 合格率95.4%		
(備考)(任意記載事項)	求人票を学生個人にメールにて配信し、求人情報の共有を図っている。また、学内企業説明会を平成30年度は65回実施。職業に出会い内定に直結する支援を実施している。		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67人	1人	1.5%
体調不良のため。		
(中退防止・中退者支援のための取組) アンケート実施により個々の問題点を把握し、チューターおよび、カウンセラーなどによる面談を実施、指導履歴作成と情報共有。また、経済的事情等や進路変更で就業が必要な場合はガイダンスや支援機会の提供などを実施。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
建築学科	100,000 円	900,000 円	300,000 円	研修・実習費
インテリアデザイン学科				研修・実習費
商品企画デザイン学科				研修・実習費
グラフィックデザイン学科				研修・実習費
マンガ・アニメーション学科				研修・実習費
CG・ゲーム学科				研修・実習費
修学支援 (任意記載事項)				
学費免除の奨学金制度、高資格・検定取得者への奨学金制度、遠方からの入学生に対する奨学金制度、親族入学優遇制度にて修学支援を実施。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2018/adh-rating2-2.pdf">http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2018/adh-rating2-2.pdf</a> 自己評価委員会は毎年11月に実施。(H30年度2019年11月に実施) 事務所で希望者全員に閲覧可能な状態としている。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な評価項目 (1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入れ募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守。</li> <li>・評価委員会の構成 委員の定数 5人 (当該学校の教職員を除く) 委員の選出区分 (地域、学校、企業等、卒業生、保護者)</li> <li>・評価結果の活用方法 評価結果を反映した、職業に必要な実践的かつ専門的な能力がより修得できる改善計画を立案し、PDCA サイクルを回し続ける。各年度の2月、校運営会議等で翌年度の実施案を策定する。</li> </ul>		
所属	任期	種別
段原地区社会福祉協議会 会長 松川町町内会 会長	平成30年11月1日 ～令和元年10月31日	地域
広島県立宮島工業高等学校 評議員	平成30年11月1日 ～令和元年10月31日	学校

広島デザインネットワーク 会員 有限会社コンセプトワーク 代表取締役	平成30年11月1日 ～令和元年10月31日	企業等
同窓会 会長	平成30年11月1日 ～令和元年10月31日	卒業生
保護者会 会長	平成30年8月1日～ 令和元年7月31日	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2018/adh-rating-3.pdf">http://www.anabuki.ac.jp/pdf/2018/adh-rating-3.pdf</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://web.anabukih.ac.jp/">http://web.anabukih.ac.jp/</a>
--